



健康手帳

84

Rh式血液型って何？

血液型とは、酸素の運搬に働く赤血球の表面にあるタンパク質やコマーシャルでお馴染みのプロテオグリカンのように、タンパク質についての糖鎖が目印(抗原)となったもののことです。

多くの種類がありますが一般的に知られている ABO 式血液型は糖鎖抗原で、輸血をするときには必ず調べて同型の血液を用います。これは血液の中にはこの ABO 抗原に対する抗体、例えば A 型のヒトの血液には B 抗原に対する抗体が含まれており(図1)、このヒトに B 型の血液を輸血(異型輸血)

血液型	A	B	O	AB
血球の抗原				
血漿の抗体	 抗B	 抗A	 抗A 抗B	

図1

すると血管の中で固まってしまう血管内溶血という非常に危険な反応が起こってしまうからです。

ABO 式の次に重要な Rh 式血液型はタンパク質抗原で、この中の RhD 抗原を持っている Rh (+) のヒトの日本での割合は 99.5% です。通常は Rh (+) のヒトも Rh (-) のヒトもこの抗原に対する

抗体は持っていません。Rh(+) のヒトがこの抗体を作ることはありませんが、Rh(-) のヒトが Rh(+) の赤血球に暴露される状況、例えば輸血や妊娠、移植などでは、ワクチンを打った時と同じように RhD 抗原に対する抗体ができてしまいます。RhD 抗体は ABO 異型輸血の時のような激しい反応は起こりませんが最終的に赤血球を破壊してしまいますので、Rh(-) のヒトには必ず Rh (-) の赤血球を輸血する必要があります。さらに注意が必要なのは Rh(-) のお母さんが Rh(+) の赤ちゃんを妊娠する Rh 式血液型不適合妊娠です(図2)。出産の際にお母さんが赤ちゃんの血液に暴露して RhD 抗体ができてしまった場合、次に妊娠した赤ちゃんが Rh(+) だったら RhD 抗体が胎盤を通過して胎児内で赤血球を壊して赤ちゃんが貧血になってしまいますので、出産の前後に予防的にこの抗体ができなくなる製剤の注射が行われます。赤ちゃんの ABO 式血液型は未熟で、また、抗 A、抗 B 抗体は抗 RhD 抗体より大きく、胎盤を通過しないので ABO 型不適合妊娠は問題とはなりません。



図2

病院の 基本理念

1. 患者中心の医療の実践
2. 人間性豊かな医療人の育成
3. 先進医療の開発と推進
4. 地域医療連携の強化
5. 災害救急医療の拠点活動
6. 医療を通じての国際貢献

目次

健康手帳(84) Rh式血液型って何？	1
認知症センターのご紹介	2
健康レシピ 第84回	
ひらめの蒸し焼き ねぎとワインのソース	3
診療科から 乳腺内分泌外科	4
神戸市難病相談支援センターからのお知らせ	4
がん相談室イベントのご案内	4

☘ 認知症センターのご紹介 ☘

🐞 神戸大学医学部附属病院 認知症疾患医療センター（認知症センター）

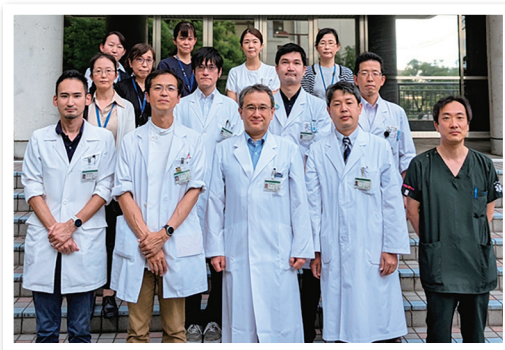
2009年11月に神戸市から指定を受けて、精神科神経科・脳神経内科メモリー外来として開設されました。医師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士(相談員)、事務など多職種のチームで受診予約から鑑別診断・治療・診断後支援を行っています。



🐞 受診に繋げるための電話相談

受診に繋げるため、どうやって病院に連れて行ったらよいか？という相談があります。認知症という病気は、「何もわからなくなり、家族に迷惑をかける怖い病気」というイメージをお持ちかもしれません。それを払拭して、安心していただけるよう、ご家族には例えば次のように説明していただけますか。『認知症は早期発見が重要で、今は予防も出来る時代になったんだよ。早めに、定期的な運動をするなど、生活習慣を改善すると、認知機能を回復出来る人が4割近くいるんだって。だから、早めに一緒に病院へ行ってみない？』

受診予約は、かかりつけ医にご相談ください。かかりつけ医のおられない方は、2019年から65歳以上の方（ただし神戸市在住のみ）は、「神戸モデル」という認知症の早期発見のための診断助成制度が受けられます。神戸モデルのホームページを検索、神戸市総合コールセンター（TEL 078-333-3330）に電話でお申込みください。



神戸大学医学部附属病院認知症センター検索



神戸モデル検索



【メモリー外来表】

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
精神科神経科		山本		蓬萊 (1,3週) 新名 (2,4週)		山本		木村 (1,3週) 山木 (2,4週)		
脳神経内科		関口	古和	森本	的場				関	

相談窓口：神戸大学医学部附属病院 認知症センター TEL078-382-6908（平日9:00～17:00）

相談員：前田、下村



一品料理で満足感アップ

春のおもてなし料理編

ひらめの蒸し焼き ねぎとワインのソース

栄養量 (1人分)

エネルギー	276kcal
たんぱく質	20.9g
脂質	10.1g
炭水化物	8.3g
(糖質)	6.3g
食物繊維	2.0g
食塩相当量	0.6g

暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続いていますね。
今回は、ご家庭でも簡単に作ることができるおもてなし魚料理をご紹介します。

ひらめの焼いた皮目の香ばしさが、白ワインで甘味の増した長ねぎのソースと一体となることで、ひらめの美味しさが一層際立ちます。

なお、この一品でたんぱく質は約20g、野菜は一食に必要な量となり、栄養のバランスが良い食事にすることができます。

ぜひご家庭でもお試しください。



※写真のお皿は内径21cm、盛り付けは1人分です。

作り方

材料(2人分)

ひらめ	200g(2切)
塩	1g
サラダ油	1g
長ねぎ	150g(2本)
トマト	40g(中1/5個)
にんにく	4g(中1/2個)
オリーブオイル	15g(大さじ1強)
白ワイン	200ml(1カップ)
イタリアンパセリ	1g
水	100ml(1/2カップ)

【下準備】

長ねぎは5cmの長さに切り、更に縦半分にする。その後、沸騰したお湯で1分間下茹でする。また、トマトは1.5cmの角切り、にんにくはみじん切り、イタリアンパセリは粗みじんに切る。

- 1 ひらめに塩をふって下味をつける。
- 2 サラダ油をひいた中火のフライパン(できればテフロン加工)で1の皮目を焼き色が付くまで焼き、皿に取り出す。
- 3 別のフライパンにオリーブオイルを入れ、弱火でにんにくを香りが出るまで炒める。
- 4 3に長ねぎを加え中火で2分間程加熱する。
- 5 4に白ワインを入れ、中火で1分間程煮詰める。
- 6 5にトマトと水を入れ、少し濃度が出るまで煮詰める。
- 7 6に2のひらめを入れ、蓋をして弱火で5分間蒸し焼きにする。
- 8 7を皿に盛り、イタリアンパセリを散らせば出来上がり。

計量の単位：1カップ=200ml、大さじ1=15ml

ここがポイント

- ・ ひらめを焼くときは、皮目だけを焼き、火を通し過ぎないようにすることで、ふっくらとした仕上がりになります。
- ・ 長ねぎはゆっくり加熱することで甘味を引き出すことができ、味に深みが増します。

メニュー考案：エームサービス(株) 上山 隼人、編集：栄養管理部 三ヶ尻 礼子

食事・栄養についてのご相談は、月～金曜日に予約制で行っています。お気軽に医師、看護師、管理栄養士にお申し出ください。

●栄養相談に関する問い合わせ先●

栄養管理部 ☎078-382-6820 (直通)
受付時間 平日8:30～17:15

乳腺内分泌外科

写真の最前列の真ん中にいるのが、私、診療科長の國久智成です。21世紀になったばかりの2001年に神戸大学を卒業しました。いろいろな病院での勤務を経て、2018年から当院で乳腺外科医として勤務しております。

私の所属している乳腺内分泌外科は主に乳がんの診断、治療を行っている診療科です。乳がんは女性のがんの中で最も多く、生涯で女性の9人に1人は発症すると言われていています。また比較的若い患者さんも多く、30代後半の年齢から発症率が増え、50歳前後でピークを迎えます。そのため妊娠、出産、育児、仕事、家族の介護などの大きなライフイベントの中で診療を受けなければならず、悩まれている方もいます。当院では医師だけでなく、看護師、がん相談室（専属の看護師、ソーシャルワーカー、カウンセラー、社労士）、患者支援センターなど他職種、多方面から患者さん

の診療と生活をサポートする体制を整えています。また遺伝性乳がん卵巣がん症候群など遺伝的に乳がんを発症しやすい体質の方に対する遺伝診療も行っています。

女性の健康を守り、病気に関係するいろいろな悩みから解放され、安心して暮らしていけるような医療を提供することが我々の使命と思い、スタッフ一同頑張っています。



神戸市難病相談支援センターからのお知らせ

第6回神戸市難病相談支援センター主催セミナー

「支援者が知っておきたい！おとなと子どもの炎症性腸疾患」

講演 1「炎症性腸疾患と診断されたら」

講師：消化器内科
助教 大井 充 先生

講演 2「当院の小児IBD診療の現状」

講師：小児科
助教 堀之内 智子 先生

日時：2023年3月14日（火）13時～14時30分

参加方式：オンライン（Zoom） 参加費：無料

対象者：難病医療ケアに携わる支援者（家族を含む）

申し込み方法：右上QRコードもしくは神戸市難病相談支援センター ホームページより事前登録をお願いします。

申し込み期限：2023年3月13日（月）17時まで

※詳細は神戸市難病相談支援センターホームページもしくはInstagramをご覧ください。

相談室の利用方法

相談窓口：総合相談窓口（当院の正面玄関を入ってすぐ左側にございます）

相談方法：電話相談（1回20分程度）、対面相談（1回30分程度）

相談日時：9時～12時、13時～16時30分（土・日・祝祭日・年末年始除く）

電話番号：078-382-6600（予約優先） Fax：078-382-6601



がん相談室イベントのご案内

がん患者さん・ご家族向け勉強会

2023年3月4日（土）

13:30～15:30



テーマ

一緒に学ぼう！

がんになってもあなたらしく

放射線治療、緩和ケア、運動療法、仕事のことなど

参加対象：どなたでも

詳細・お申込みはこちらから ▶



がん患者サロン

2023年3月9日（木）

15:00～16:00

参加対象：がん治療中または療養中の方

詳細・お申込みはこちらから ▶



【お問い合わせ先】

がん相談室

☎ 078-382-5830（受付時間 9:30～16:30）



院外処方箋の使用期限は
発行日を含めて**4日間**です。



病院敷地内
全面禁煙



忘れ物、落とし物は、1階
受付6番窓口でお預かり
しています。内線3075